

第2節 精神保健福祉

1 精神保健福祉

地域精神保健福祉業務の中心的な機関として、行政関係、医療、社会福祉施設等の諸機関を含めた地域社会と

の緊密な連絡調整の下に、地域住民の精神的健康の保持と福祉の増進を図るため、諸活動を行っている。

(1) 精神障害者の概況

表1-1 入院届出等状況 (単位: 件)

令和6年度

区 分	入 院		計
	措 置	医 療 保 護	
症 状 性 を 含 む 器 質 性 精 神 障 害	—	162	162
精神作用物質使用による精神および行動の障害	—	10	10
統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	2	100	102
気 分 (感 情) 障 害	6	57	63
神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	—	7	7
生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	—	12	12
成人のパーソナリティおよび行動の障害	—	2	2
精 神 遅 滞 [知 的 障 害]	—	7	7
心 理 的 発 達 の 障 害	—	7	7
小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害 特 定 不 能 の 精 神 障 害	—	—	—
計	8	364	372

※ 精神保健福祉法に基づく入院数

表1-2 自立支援医療受給者証交付状況 (精神通院) (実件数)

令和6年度

	管内計	小松市	加賀市	能美市	川北町
受給者数	3,557	1,562	1,093	827	75

表1-3 精神障害者保健福祉手帳交付状況 (実件数)

令和6年度

	管内計	小松市	加賀市	能美市	川北町
計	2,203	1,034	597	519	53
1級	98	46	30	20	2
2級	1,760	821	475	422	42
3級	345	167	92	77	9

※ 1級: 精神障害であって、日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの

2級: 精神障害であって、日常生活が著しい制限を受けるか、又は日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの

3級: 精神障害であって、日常生活若しくは社会生活が制限を受けるか、又は日常生活若しくは社会生活に制限を加えることを必要とする程度のもの

(2) 精神保健福祉相談及び訪問指導

表2-1 件数の内訳

令和6年度

区 分	電話相談	メール相談	来所相談	訪問指導	計
実 件 数			78	61	139
延 件 数	2,021	27	153	200	2,401

表2-2 相談件数の年度推移

年度 \ 区分	電話相談	メール相談	来 所 相 談		訪 問 指 導	
	延	—	実	延	実	延
令和2年度	2,256	—	89	130	78	205
令和3年度	1,744	41	71	101	52	128
令和4年度	1,325	43	59	85	54	135
令和5年度	1,723	24	58	81	47	184
令和6年度	2,021	27	78	153	61	200

表2-3 来所経路別延件数

令和6年度

区 分	本 人	家 族	病 院	福 祉 事務所	保健所	精神保健福 祉センター	市 町	職場・ 学校	民生委員	その他	計
来 所 相 談	15	26	54	—	—	3	9	—	—	46	153
訪 問 指 導	22	11	60	—	—	2	5	—	—	100	200

表2-4 年齢別件数

令和6年度

年 齢	～ 9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不 明	計	
電 話 相 談	—	127	107	307	680	454	188	104	54	2, 021	2, 174
来 所 相 談	—	20 (9)	6 (6)	30 (18)	43 (21)	44 (14)	3 (3)	7 (7)	—	153 (78)	
訪 問 指 導	—	14 (8)	19 (9)	35 (12)	61 (11)	48 (14)	9 (4)	14 (3)	—	200 (61)	

注：() は実件数

表2-5 相談内容別件数

令和6年度

区 分	老人精神 保健	社会復帰	アルコー ル	薬物	ギャンブ ル	ゲーム	思春期	心の健康 づくり	うつ うつ状態	摂食 障害	てんかん	その他	計	
電 話 相 談	86	1,291	54	－	1	3	31	477	64	－	－	14	2,021	2,201
メール 相 談	－	8	－	－	－	－	－	17	－	－	－	2	27	
来 所 相 談	4	89	7	－	－	－	4	47	1	－	－	1	153	
訪 問 指 導	14	134	1	－	－	－	3	41	5	－	－	2	200	

表2-6 診断別件数 (診断名はICD10に準ずる) 令和6年度

区分	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G40	その他	保留	不明	計
	症状性を含む器質性精神障害	よ精神作用物質使用による精神障害	よ統合失調症、統合失調型障害	気分障害	障害神経性障害、身体表現性障害	関連生理的障害および身体的要因に	動成人のパーソナリティおよび害行	精神遅滞（知的障害）	心理的発達の障害	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	てんかん				
来所相談	0 (0)	1 (1)	32 (18)	26 (11)	9 (3)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	11 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	51 (39)	153 (78)
訪問指導	21 (4)	14 (2)	64 (16)	39 (13)	23 (8)	0 (0)	0 (0)	12 (2)	8 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (11)	200 (61)
															353

(3) 自殺防止対策事業

日本における自殺者数は、平成10年から平成23年まで年間3万人を上回り、大きな社会問題となった。本県においても281人に急増した。平成25年以降は年により多少の増減はあるものの減少傾向にあったが、令和2年以降は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等でやや増加傾向にあり、令和4年には185人となっている。

国において自殺対策基本法が策定され、県では、平成2

0年度に「第1次自殺対策行動計画」を策定し、総合的な自殺対策に取り組んできていた。令和6年度には第3次自殺対策計画が策定され、更なる自殺者の減少のため、効果的な自殺対策の推進を図っている。

自殺の原因は、健康問題、経済・生活問題、対人問題等多岐にわたり、個人の問題にとどまらず、地域社会全体で取り組まなければならない課題となっている。

表3-1 地域連携会議の開催状況

令和6年度

事業名	日時	内容	参集者	参加者数
自殺防止対策地域連絡会	R6.10.30	研修会・意見交換（事例検討）	行政、医療、福祉機関、各種団体	23人

表3-2 うつ・依存症家族教室の開催状況

自殺リスクの高いうつや依存症者の家族及び支援者等に対し、正しい知識を普及する。また、家族自身の心身の健康を守るた

めの方法なども学び、家族等の支援を通してうつ・依存症者への支援を図る。

令和6年度

日時	名称	内容	参加者数
R6.10.22	アルコール依存症家族教室	講話『「やめない・やめられない」の理解—たとえばお酒とか—』 講師：北陸HIV情報センター 西念 奈津江氏 (精神保健福祉士)	8人
R7.1.30	うつ病家族教室	講話「うつ病の理解と対応」 講師：加賀温泉駅前こころクリニック 長谷川 英裕氏 (医師)	14人

表3-3 ゲートキーパー養成等事業の実施状況

広く一般の人々に自殺予防に関する理解を深め、身近な介できる人（ゲートキーパー）を養成する。
人の異変に気づき、声をかけ、話を聴き、適切な相談先を紹介

令和6年度

日 時	場 所	内 容	対 象 者	参加者数
R6. 11. 13	南加賀保健所	ゲートキーパー養成研修	一般	1人

表3-4 若い世代の心の健康づくり事業の開催状況

協力が得られた大学や専門学校等の学生に対し、ゲートキーパー養成講座を開催し、普及啓発と自殺予防の人材育成を図る。

令和6年度

日 時	場 所	内 容	対 象 者	参加者数
R6. 5. 27	南加賀保健所	大学生を対象にしたゲートキーパー養成研修	看護学生（金沢大学）	4人
R6. 6. 21	南加賀保健所	大学生を対象にしたゲートキーパー養成研修	看護学生（金沢大学）	8人
R6. 7. 4	小松大学	大学生を対象にしたゲートキーパー養成研修	看護学生（小松大学）	125人
R6. 7. 19	南加賀保健所	大学生を対象にしたゲートキーパー養成研修	看護学生（小松大学）	9人
R6. 8. 22	南加賀保健所	大学生を対象にしたゲートキーパー養成研修	看護学生（小松大学）	8人
R6. 9. 19	南加賀保健所	大学生を対象にしたゲートキーパー養成研修	看護学生（金城大学）	12人

表3-5 自殺未遂者支援体制整備事業

平成27年12月より救急告示医療機関等と自傷行為・自殺未遂者のための連携事業を開始した。自傷行為及び自殺未遂者本人や家族へのこころのケアが実施できる体制を整備し自殺の再企図防止を目的としている。

また、自殺未遂者に早期に接する救急告示医療機関及び救急隊員向けに自殺未遂者への対応について研修会を実施している。

令和6年度

日 時	名 称	場 所	対 象 者	参加者数
R6. 9. 6	自殺未遂者支援研修会（ハイブリッド研修）	加賀市医療センター	救急告示・精神科医療機関、消防署、市町等	45人

(4) ひきこもり社会参加復帰支援事業

近年、ひきこもりの子を養う親が高齢化して困窮する「8050」問題が顕在化している。また、国の調査では、ひきこもり状態にある人は全国で約146万人と推計されており、本県においては人口規模から約1万4千人が見込まれ、ひきこもり対策は喫緊の課題である

表4-1 ひきこもりに関する相談状況

令和6年度

区 分	電話相談	メール	来所相談	訪問指導	計
実 件 数			6	1	7
延 件 数	29	5	8	2	44

表4-2 ひきこもり地域支援ネットワーク会議

令和4年度より、新たな支援拠点として能登と加賀に「ひきこもり地域支援センター」が設置された。加賀ひきこもり地域支援センターの紹介と圏域における役割等を共有す

るため、令和4年度より開始した。市町等関係機関と相談支援体制の現状や課題を共有・検討し、地域における相談支援体制の充実を図ることを目的としている。

令和6年度

日 時	名 称	参 加 者 数・対 象 者
R6.12.5	ひきこもり地域支援ネットワーク会議	29人 市町担当課、ひきこもり支援関係機関等

表4-3 ひきこもり当事者グループ活動の実施状況

平成27年8月より開始した事業、月1回、第3金曜日の13:30～15:30に集える場を確保している。

令和6年度

開 催 回 数	場 所	内 容	参 加 人 数
実施なし			

表4-4 ひきこもり家族教室の実施状況

ひきこもりや不登校が長期化すると社会生活の再開が著しく困難になり、当事者をはじめ家族は大きな不安を抱くようになる。ひきこもり・不登校で悩んでいる家族等が、ひきこ

もりに関する知識・理解を深め、よりよい対応を行うことで、当事者及び家族の生活の質(QOL)が改善することを目的としている。

令和6年度

日 時	場 所	内 容	参 加 人 数
R7.2.25	南加賀保健所	講演会・家族交流会	19人

(5) 精神障害者地域生活支援事業

平成19年度より開始している事業。精神に障害のある方が安心して自分らしく暮らすことができるよう、障害保健福祉圏域ごとの保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて、関係者間の顔の見える関係を構築し、地域の課題を把握した上で、重層的な連携による支援体制を構築する

ことを目的としている。

保健所は、精神障害の有無や程度に関わらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう市町との協働により、支援体制構築の推進を図っていくことが必要である。

表5-1 精神障害者地域生活支援事業実施状況

令和6年度

日 時	名 称	参 加 者 数・対 象 者
R6.10.1	精神障害者地域生活支援事業地域連絡会 第1回	31人 精神科医療機関、相談支援事業所、市町担当課等
R7.2.4	精神障害者地域生活支援事業地域連絡会 第2回	29人 精神科医療機関、相談支援事業所、市町担当課等

表5-2 ピアサポーターの登録・活動状況

ピアサポーター登録者 9名(新規0名、継続9名)

令和6年度

日 時	活 動 内 容	参 加 人 数
R6.10.1	精神障害者地域生活支援事業地域連絡会第1回の参加 ピアサポーターの活動について報告	2人

(6) 関係機関との連携

表6 関係機関との連携、会議等への参加状況

令和6年度

会議名	回数	参加 延人数	主催	内容
小松市自立支援協議会全体会議	1	52	小 松 市	地域における障害者等への支援体制に関する検討
小松市くらし安心ネットワーク協議会 いのちと心の部会	1	17	小 松 市	自殺対策基本計画に関する検討
小松市精神障がい者地域生活支援検討部会	3	48	小 松 市	精神障害にも対応した地域包括支援システム構築に関する検討
小松市生活困窮者自立支援調整会議	1	20	小 松 市	生活困窮者自立支援法に基づく調整会議
加賀市ひきこもり支援体制検討会	1	13	加 賀 市	加賀市ひきこもり支援体制を検討
加賀市庁内外自殺対策連絡会	1	21	加 賀 市	加賀市自殺対策基本計画に基づく連絡会
加賀市じりつ支援協議会	1	43	加 賀 市	第7期障害福祉計画策定のための検討
加賀市地域移行支援会議	5	92	加 賀 市	加賀市における精神障害者の地域移行支援にかかる検討
能美市自殺防止対策連絡協議会	1	11	能 美 市	能美市自殺対策基本計画に基づく連絡会
能美市ひきこもり専門職チーム派遣ケース検討会	1	11	能 美 市	多職種連携による支援の検討
加賀地区地域支援ネットワークに関する会議	1	8	金沢保護観察所	更生保護法に基づく地域援助について検討
小松能美地区地域支援ネットワークに関する会議	1	10	金沢保護観察所	更生保護法に基づく地域援助について検討
薬物依存対象者地域支援連絡会議	1	11	金沢保護観察所	薬物依存症者への支援体制構築を目的にした会議
ケース会議	6	48	南加賀保健所	個別支援ケースの支援方法や役割分担等について検討
ケース会議	1	7	相談支援事業所	個別支援ケースの支援方法や役割分担等について検討
ケース会議	8	62	精神科病院	個別支援ケースの支援方法や役割分担等について検討
ケース会議	6	48	小 松 市	個別支援ケースの支援方法や役割分担等について検討
ケース会議	1	11	加 賀 市	個別支援ケースの支援方法や役割分担等について検討
ケース会議	7	71	能 美 市	個別支援ケースの支援方法や役割分担等について検討
メンボラ TOMO の役員会	3	42	メンボラ TOMO の会	メンボラ TOMO の会の運営について検討